



平成30年7月28日の埼玉新聞に、
トワーム小江戸病院の夏祭りが
紹介されました。

2018年(平成30年)7月28日(土曜日)

患者ら夏祭りを満喫

トワーム小江戸病院 輪投げや和太鼓演奏も

職員らと輪投げを楽しむ患者―川越市下老袋のトワーム小江戸病院



医療法人社団松弘会トワーム小江戸病院（済陽義久理事長、川越市下老袋）で、毎年恒例の夏祭りが開かれ、入院患者やその家族、地域住民らでにぎわった。院内には輪投げやヨーヨー

釣り、射的などのゲームコーナーのほか、病院の特色でもあるアニマルセラピー犬との触れ合いコーナーが設けられた。城西大学付属川越高校の生徒たちによる和太鼓演奏や、打ち上げ花火もあり、会

場を盛り上げた。

家族と共に市内から訪れた板垣宗佑君（7）は「おばあちゃんに会いに来た。屋台ではかき氷やカレーを食べておいしかった」と笑顔で話した。

同病院は認知症専門療養型病院で、利用者数は約200人。患者に夏の雰囲気味わってもらおうと、10年前の開院時から毎年、職員が夏祭りを開いている。

渡辺哲弥院長は「入院している患者さんや家族は普段、あまり出掛けられない。少しでも家族と一緒に過ごし、楽しんでもらえば」と祭りの思いを話していた。

（中野えみり）